

2022年11月8日

報道関係各位

医療法人みなとみらい
三菱地所株式会社

2023年春、丸の内に新業態のクリニックが誕生 ～医療法人みなとみらいと三菱地所がウェルネス事業推進で協定締結～

医療法人みなとみらい（神奈川県横浜市、理事長 田中 俊一）^{※1}と三菱地所株式会社（東京都千代田区、執行役社長 吉田 淳一）は、このほどウェルネスを軸とした新業態クリニック事業の推進のため基本協定を締結しました。2023年春に東京ビルディング（東京都千代田区丸の内2丁目7-3）に体調不良の人のみならず、誰でも心身のコンディションを整え日々のパフォーマンスを発揮することをサポートするクリニック「（仮称）Personal Wellness Clinic MARUNOUCHI」（以下、本クリニック）を開業するほか、本事業の多拠点化を検討してまいります。



東京ビル外観

本クリニックは、ビジネスパーソンをメインターゲットとしたライフサポート（＝健康向上）とメディカル（＝クリニック）の機能が一体化したものです。姿勢と歩行の評価後、心臓や脳などいくつかの重要臓器の機能年齢を測定し、バイタルデータや睡眠深度などの毎日のライフデータと、月次の血液データ・尿検査等の医療データに基づき、定期的に健康状態を可視化することで、科学的に睡眠、食、メンタル等多様な側面から、心身のコンディションを整えるサービスを提供いたします。ライフサポートのためのサービスとして、低酸素トレーニングやメディテーションブース、腸活ドリンクを設置する一方、メディカルの分野では、副作用がなく科学的に効果の期待できる自費治療や睡眠深度を測りながら仮眠できるスリープブースなどを実施する予定です。

また、ビジネスパーソンのパフォーマンスを高める瞑想やメンタル面でのコンディショニングプログラムを提供する瞑想スタジオ Medicha^{※2}のノウハウを活用し、コンディション維持・向上に寄り添うコンシェルジュの設置なども進め、クリニック来訪者の行動変容をメディカルデータやライフデータをベースにパーソナルにサポートいたします。

医療法人みなとみらいと三菱地所は、メディカルとライフサポートの融合を基軸に、クリニック事業をはじめ、ウェルネスに係るサービス開発を行う企業や健康経営を目指す企業の支援も展開し、人々のウェルビーイングの実現に向けて、共に取り組んでまいります。

（※1）医療法人みなとみらい：神奈川県を中心に9つのクリニックを経営し、毎月5000人以上の糖尿病患者、各3000人以上の高血圧症、脂質異常症、睡眠時無呼吸患者が通院し、睡眠時無呼吸から生活習慣病に至る数多くの臨床データを有する。1997年10月、金沢文庫に金沢内科クリニックを開設した当初より糖尿病・甲状腺の専門クリニックとして、代謝疾患に対する総合的な診療を実施。糖尿病をはじめとする生活習慣病の治療方針として、食事療法、運動療法に加えて「睡眠の質の改善」に早くから注目し、睡眠時無呼吸症候群の正確な診断・治療を展開。患者の日常データを電子化し科学的な医療を実現することを目指した活動を行っている。



理事長 田中 俊一

(※2) Medicha : 三菱地所の新事業提案制度により 2019 年に創設したメディテーション(瞑想)スタジオ (東京・南青山)。自分に余白をつくる贅沢な時間”をコンセプトに、アートとサイエンスを掛け合わせたメディテーション及び関連事業を展開。ホテルや住宅、ウェルビーイング関連イベントなどの空間監修・没入体験監修も手掛ける。2020 年度グッドデザイン賞受賞。



「Medicha」

○丸の内エリアのまちづくりコンセプト：「丸の内 Re デザイン」



丸の内
Re デザイン

三菱地所は、2020 年以降の丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）におけるまちづくりを「丸の内 NEXT ステージ[※]」と位置付け、“人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台”を創造していきます。「丸の内 Re デザイン」はその実現に向け、まちづくりのあり方から変えていくコンセプトワードです。

※始動リリース：https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200124_marunouchinext.pdf

以上